

# 桜地区防災ニュース「きらら」



令和4年6月号  
発行責任者  
桜地区自主防災協議会  
桜地区連合自治会

## 令和4年度 自主防災協議会 役員・委員名簿 (自治会長・防災隊長を除く)

	所属団体	氏名
役員	会長	杉山 勝己
	副会長	伊藤 隆夫
	副会長	神田 幹雄
	副会長 防災リーダー 運営委員長	川口 富生
	副会長 防災サブリーダー (減災アドバイザー)	小森 豊明
	書記	寺脇 仁
	会計	伊藤 秋男

支部長	桜連合支部長	小島 信男
	桜台連合支部長	近藤 貢
	広域桜花台連合支部長	豊田 智憲

災害対策本部員	桜連合自治会	鈴木 純
		山口 和己
		小島 信男
		川口 富生
	桜台連合自治会	平川 勝美
		瀬古 認
		前田 敏夫
		市川 清美

自主防災推進委員	広域桜花台連合自治会	上野 文之
		寺脇 仁
		寺本 二三夫
		飯塚 進二
	桜連合自治会	堤 成生
		平尾 哲夫
		山北 清文
		川口 博隆
		田村 均
		若林 宏行
	桜台連合自治会	種村 龍二
		近藤 貢
		加藤 克
		金城 健二
	広域桜花台連合自治会	駒田 稔
		減災アドバイザー 豊田 智憲
		飯塚 浩文
川野 義昭		
松井 康弘		
桜地区社会福祉協議会	山口 花子	
	桜地区民生委員 児童委員協議会	秋元 幸俊
	女性防災隊 (桜ずきんちゃん)	高橋恵美子
事務局	桜地区市民センター	水谷 覚子

## ごあいさつ

日頃は、地域を守る防災活動に多大なご協力を頂き、誠にありがとうございます。

我々の活動は、「自分たちの地域は自分たちで守る」自助・共助の助け合いで支えられております。これは、日本の良き「隣近所の助け合い」が原動力になっていると考えます。しかし、昨今は、この隣近所の関係も薄れ、更には、自治会への嫌忌感や自治会離れも加わり、原動力も失われつつあります。

敢えて、この「不都合な状況」に触れますが、その原因に、自治会の活動そのものがないかです。自治会は、住民の皆様のボランティアに支えられています。運営に、過度な役負担がないか、進め方に謙虚さも必要です。この事に留意し、連帯感を持って進める事が肝要です。

自主防災組織は、各自治会、連合自治会および地区連合の3段階で編成され各々の役割の中で活動しています。桜台地域の例を見ると、各自治会は、火災などの単発災害や地震・風水害の広域災害の初期に、発災現場の近隣の方々と協力し、身の安全が確保できる範囲で、消火や救助の活動を行います。公設消防車が到着後は、その指揮下に入り、後方支援の周辺の交通整理や住民の安全確保に当たります。

連合自治会は、広域災害に対し、地域を守る活動の中核を担います。災害は、地理特性が大きく影響します。その特性を考えた対策や備えが必要です。例えば、川の多い桜地域は河川氾濫・洪水へ、急斜面の多い桜台地域は土砂災害へ、広域桜花台も同様に、この対策を強化する必要があります。

連合自治会のもう1つの重要な役割は、「生き延びる」ための備えをする事です。避難所の設営、食料の備蓄、トイレの準備、防災資機材の管理等々。しかし、収容能力からは、災害弱者の方々が優先されますので、多くの皆様は、自らの備えも必要です。地区連合は、市の危機管理課と連携しながら、地区全体の災害状況の把握やそれへの公的組織からの支援の要請を適時に行います。

災害は想定通りには来ません。その時に重要な事は、各防災組織の責任者が状況を的確に把握し、明確な指示を与えることです。そのためにも、責任と指揮命令系統を明確にしておかなければなりません。また、防災の担当者が、毎年代わる事で良いか、も見直す必要もあります。

最後に、今年は、9月4日（日）に四日市市の「市民総ぐるみ総合防災訓練」が桜地区で予定されてます。これを準備し実行する事で、我々の防災活動の実効性が試されます。また、市を含めた関連した組織との連携も確認出来ます。

地域の防災活動の向上の機会として、皆様方の更なるご協力をよろしくお願い致します。

桜地区自主防災協議会

会長 杉山 勝己

